

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 吉田 忠典

①重点施策項目名	介護予防を進めます
②目標値	(H29) 要介護要支援認定率 16.82% (H32) 要介護要支援認定率 17.60%
③今年度の取組方針	高齢者の身体状況にあわせて、各地区のまちづくり推進センター等で多様な介護予防教室を開催します。また、各町区で行われる自主的な介護予防の取組を支援するとともに、その担い手であるボランティアを育成します。
④上半期の取組内容	高齢者の身体状況にあわせた介護予防教室を各地区まちづくり推進センター等で開催しています(実施教室: 元気クラブ、いきいき健康教室、ふまネット運動、ロコモーショントレーニング教室、音楽サロン等)。 また、各町区の自主的な介護予防活動である「通いの場」の立上げを支援し、5町区で立ち上がり、現在16カ所で活動が行われています。 さらには、今年度から通所型サービス事業や介護予防事業の担い手となるボランティアの育成研修事業をスタートさせ、約60名の方に受講していただいています。
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	

◇所管部長の指示

上半期

引き続き「通いの場」の立ち上げ支援を実施し、育成中のボランティアが活動する場となるよう、連携を深めること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 吉田 忠典

①重点施策項目名	障害のある人が地域生活に定着できるように支援体制の充実を図ります
②目標値	(H29) 相談支援事業年間利用者数 259人 (H32) 相談支援事業年間利用者数 310人
③今年度の取組方針	障害のある人が地域で安心して暮らせるために、障害福祉サービスの利用支援や日常生活支援などの相談が、気軽にできる相談支援体制の強化を図ります。
④上半期の取組内容	<p>障害者やその家族に対し、日常生活支援や障害者総合支援法に基づく福祉サービスの相談などの相談支援を行いました。</p> <p>●総合相談支援センター相談件数 : 4,399件(8月末現在) ●総合相談支援センター相談実人数 : 128人(8月末現在)</p>
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	

◇所管部長の指示

上半期

相談内容が複雑化・専門化しており、それに対応できるよう事例研究を深めていくこと。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 吉田 忠典

①重点施策項目名	避難行動要支援者名簿の更新及び整備を推進します
②目標値	避難支援等関係者への情報提供方法や条件等の整理を行います
③今年度の取組方針	災害時等において特に支援が必要な方を対象に、自治体において名簿を整備することが義務付けられていることから、要支援者の理解を得るとともに定期的な名簿の更新及び整備を行うことにより避難時における効果的な支援体制を整えます。
④上半期の取組内容	<p>8月20日、本市において初めての試みとなる要支援者名簿を活用した避難訓練を松原町において実施しました。</p> <p>高齢者等、要支援者を対象とした訓練を通して様々な課題が明確になり、地域における支援の協力体制のありかた等を検討するとともに、名簿の更新及び整備に努めながら、他の町区においても同様の取り組みについて呼びかけを行います。</p>
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	

◇所管部長の指示

上半期

名簿の更新・整備に努めるのはもちろん、名簿を活用した避難行動の訓練等を通じ、地域の課題を掘り起こしていくこと。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 吉田 忠典

①重点施策項目名	生活困窮者の就労を支援します												
②目標値	(H29) 就労支援利用者のうち就労した者の割合 72%												
③今年度の取組方針	<p>稼働能力がある生活困窮者を支援するため、ジョブナビ鳥栖と連携した就労相談体制を充実させ、職業訓練、職業紹介、求職活動等の支援を行います。</p> <p>また、一般就労以外でも障害者枠の雇用や福祉作業所を活用し、利用者の状況、適正、要望に沿った就労や社会参加を支援します。</p>												
④上半期の取組内容	<p>利用者28人に対し支援を行い、14人が就職しました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(内訳) 平成28年度からの利用者8人を支援</td> <td style="text-align: right;">6人就職</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">(うち福祉的就労の利用者1名を支援</td> <td style="text-align: right;">1人就職)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">平成29年度からの利用者20人を支援</td> <td style="text-align: right;">8人就職</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">就労支援継続中</td> <td style="text-align: right;">9人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">転出による終了</td> <td style="text-align: right;">1人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">生活保護受給</td> <td style="text-align: right;">4人</td> </tr> </table>	(内訳) 平成28年度からの利用者8人を支援	6人就職	(うち福祉的就労の利用者1名を支援	1人就職)	平成29年度からの利用者20人を支援	8人就職	就労支援継続中	9人	転出による終了	1人	生活保護受給	4人
(内訳) 平成28年度からの利用者8人を支援	6人就職												
(うち福祉的就労の利用者1名を支援	1人就職)												
平成29年度からの利用者20人を支援	8人就職												
就労支援継続中	9人												
転出による終了	1人												
生活保護受給	4人												
⑤下半期の取組内容													
⑥数値目標の結果													
⑦成果と課題 (次年度に向けて)													

◇所管部長の指示

上半期

今後もジョブナビ鳥栖と連携した就労相談体制を充実させ、利用者に応じた稼働能力の活用を支援し、相談者の自立助長につなげること。

下半期